

## 知床沖観光船沈没事故 長期に及ぶ独自の検証報道 取材スタッフ一同に局長賞 ギャラクシー賞報道活動部門 選奨受賞

2026年1月5日 (月)

取材チームは2022年4月に知床沖で小型観光船が沈没する事故が起きた当初から、独自の資料や証言を積み重ねた検証報道を行い、時間の経過とともに風化しがちな事故の真相を海上保安庁、警察への情報開示請求や関係者への継続取材で追及しました。地道な取材活動をつづけたその姿勢が、海中映像や118番通報記録の開示につながりました。また、救難体制の課題や全国の船舶事業者への影響などを多角的に取材した一方、遺族に寄り添う姿勢も高く評価されました。こうした取り組みがギャラクシー賞報道活動部門の選奨受賞につながりました。当社報道のプレゼンス向上に寄与した功績を称え表彰します。

報道部・須藤真之介さんコメント

「これまで3年以上にわたり、デスク・記者・カメラマン・編集マンなどチーム一丸となって、『事故を風化させない』一心で取材・報道を続けてきました。乗客の家族に寄り添った取材や粘り強い情報開示請求で、道警の海中映像や通報記録を明るみにしました。今後も被害にあった乗客家族の想いに応え、全国に発信し続ける必要があると考えています。これを励みに、今後も取材を続けていきます。」



左から山上暢さん、北村稔さん、須藤真之介さん、山本裕之報道情報局長